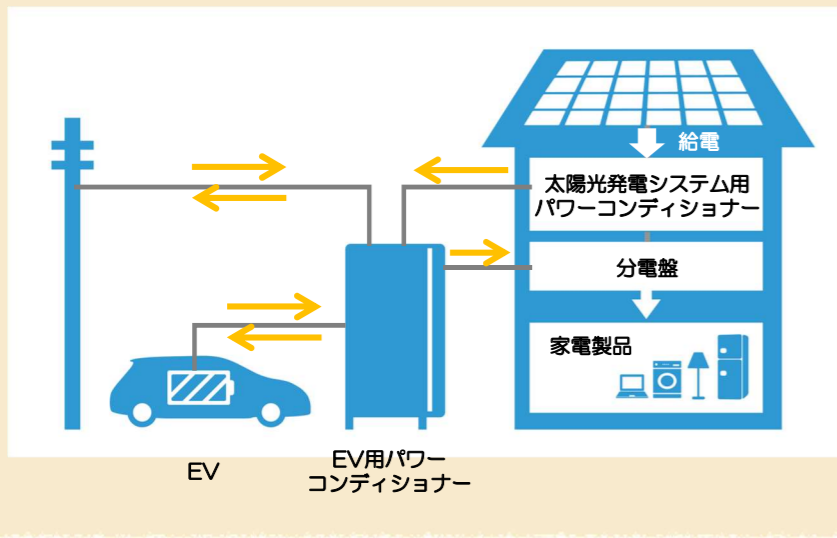
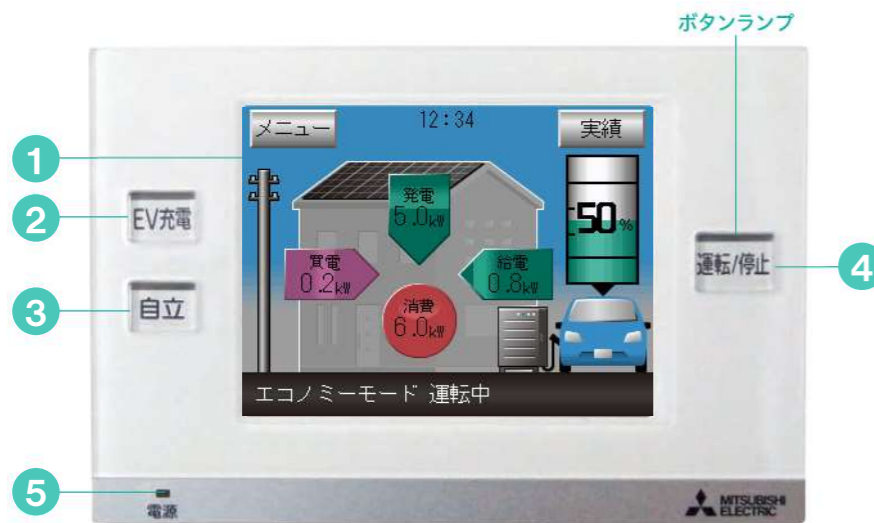


VtoHeim 設定・操作ガイド①

VtoHeim システム概要



リモコン画面



1 操作画面（タッチパネル）

無操作状態で約5分経過すると液晶画面とバックライトが消灯。
消灯時に画面をタッチすると液晶画面とバックライトが再点灯します。

2 EV充電ボタン

普段のスケジュールとは別に、ただちにEVの充電を開始する場合に押します。

3 自立ボタン

停電が発生した場合など、自立運転を開始したい場合に押します。
（停電をしていない場合は自立運転を開始できません。）運転開始操作は
ホーム画面表示時のみ有効です。ボタンランプは、自立運転時のみ点灯します。

4 運転/停止ボタン

各運転モードを運転または停止します。
停止時に「運転/停止」ボタンを押すと前の運転モードを再開します。
運転中に「運転/停止」ボタンを押すと停止します。
運転開始操作はホーム画面表示時のみ有効です。
ボタンランプは、運転時：点灯、停止時：消灯します。
通常運転（自動運転）設定時はタイマーによる運転自動停止時を含めて、点灯します。

5 電源ランプ

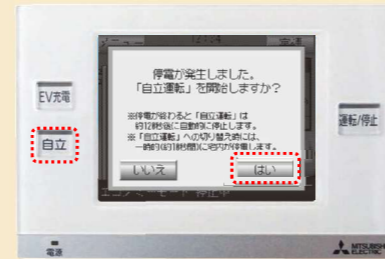
EV用パワーコンディショナーから電源が供給されると点灯します。通常は常時点灯します。
※EV不在時にも点灯します。（停電時に長時間EVが不在になると消灯します。）

停電時の使い方

停電時、自立運転に切り替えることで
EV蓄電池から住宅内に電気を供給することができます。

EVからの給電に切り替えたい場合は下記の操作が必要です

EV操作パネルで自立運転をオンにします



リモコン画面に『「自立運転」を開始しますか?』というポップアップ画面が表示。
ボタンランプ3か所が点滅します。
リモコン本体の「自立」ボタン、または画面
右下の「OK」ボタンを押してください。

EV操作画面を確認します。



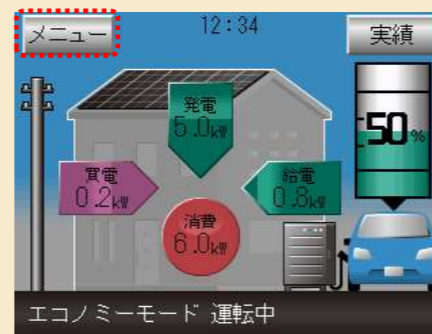
※宅内の照明が点灯することで、
自立運転していることが確認できます。
※停電時はリモコン画面の電柱に、停電を
示す×印アイコンが表示されます。また、
リモコンには給電アイコンが表示されます。
※画面左下が「停電：自立 運転中」と
表示されていることをご確認ください。

お願い

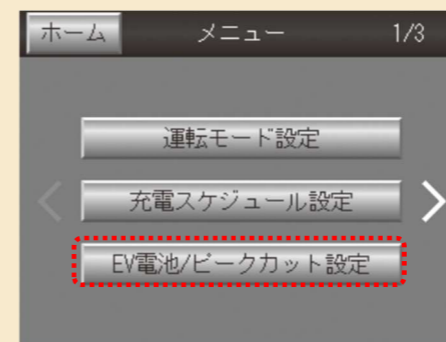
- 停電が発生してから自立運転に切り替
えるまでは、EV用パワーコンディ
ショナーに内蔵しているバックアップ
電池によって制御回路が動作していま
す。停電継続中に長時間（5.5時間）
自立運転への切替操作が行われないと、
内蔵バッテリーが減り、自立運転が行
えなくなることもあります。尚その場
合も復電すれば元に戻ります。
- PV用パワーコンディショナーが連系
してEVに充電を開始するまでの間に
EV電池を使い切らないよう、出来る
だけ住宅内負荷を減らしてから自立運
転を開始してください。

停電に備えた設定をしておきましょう（日産自動車製EVの場合は設定変更不要）

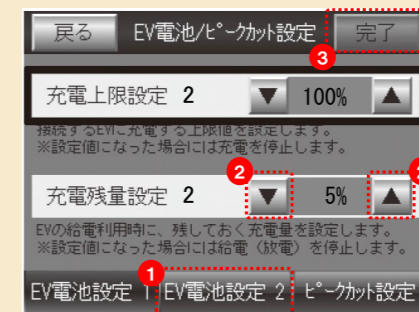
①メニューボタンを押します



②EV電池/ピークカット設定を押します



③充電残量設定2を推奨設定に設定



- EV電池設定 2 を
押します
- ▼▲ボタンで充電残量
設定を車種ごとの
推奨設定に設定します
（下表参照）
- 完了を押して画面を
閉じます

車種別のおすすめ設定はこちら

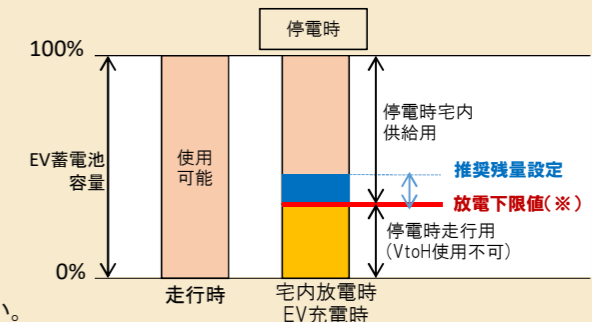
自動車メーカー	車種	推奨残量設定
三菱自動車工業	16Kwh	10%
	10.5Kwh	20%
日産自動車	リーフ	5%
	e-NV200	5%

※三菱自動車アウトランダーPHEVはエンジンを使用して
充電が可能のため、充電残量設定の変更は不要です

車種別のおすすめ設定はこちら

停電時において、EV蓄電池容量が自動車メーカーが設定している放電下限値（※）を下回る場合、
宅内に電気を供給すること（放電）やEVに充電することが出来なくなります。
※放電下限値は車種により異なります。

車種	放電下限値	
i-MiEV	16Kwh	30%
	10.5Kwh	30%
リーフ	10%	
e-NV200	10%	



詳細は下記三菱電機(株)ホームページをご確認ください。
<http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/smartv2h/product/list.html>

VtoHeim 設定・操作ガイド②

三菱電機製

運転モードの種類と切り替え方

お好みの運転モードを設定することができます。

通常の運転では、下記のどちらかのモードを選びます。

経済性を重視したエコノミー設定
エコノミーモード

割安な深夜電力で充電。朝～夕の電力使用量が多い時間に放電することで電気料金を節約。

太陽光発電の電力は家庭内で使用し、余剰分を電力会社に売電します。売電中はEV電池は放電せず、使用電力が太陽光発電電力より多いときに放電します。

環境を重視したエコロジー設定
グリーンモード

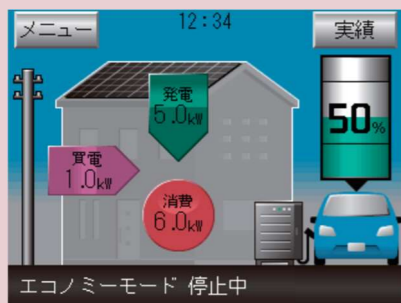
おもに太陽光発電の電力で充電。その電力を使うことで環境にやさしい暮らしを実現。

太陽光発電の電力は家庭内で使用し、余剰分をEV電池に充電します。その昼間に貯めた電力をおもに夕・夜に使用します。

初期設定は「**エコノミーモード**」です。「**グリーンモード**」を選ぶ場合は、下記の操作が必要です。

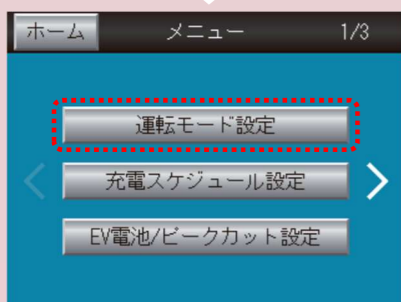
※自給率100%住宅の「100% Edition」の場合、初期設定はグリーンモードです。

●「グリーンモード」の設定方法

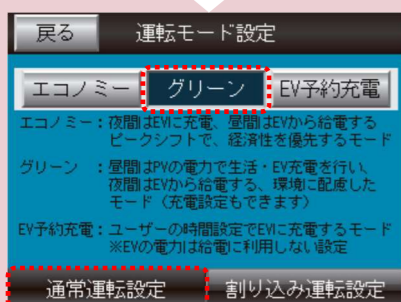


①「メニュー」ボタンを押す。

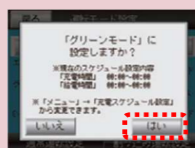
※買電/売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電/充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションが表示されません。
※「EV接続状態」が検出できない時は白抜自動車画像になります。
※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「--」で表示します。



②「運転モード設定」ボタンを押す。



③「通常運転設定」ボタンを押し、「グリーン」ボタンを押す。



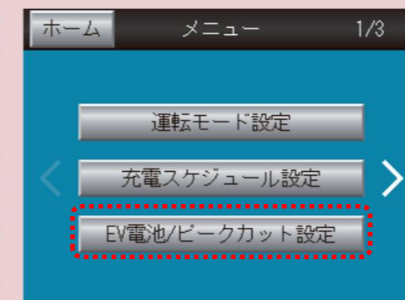
確認画面が出ますので、予め設定した充電時間/給電時間を確認後「はい」を押して確定する。

※充電時間/給電時間を変更する場合は、一旦「いいえ」を押して、「戻る」→「充電スケジュール設定」から変更後、再度グリーンモードを設定してください。

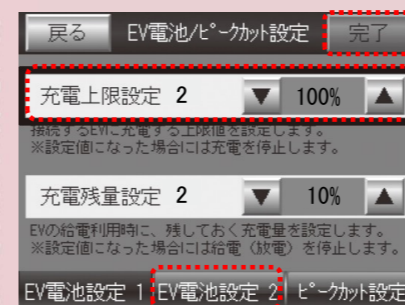
充放電時間の変更方法

●「充電上限設定2」の変更方法

「充電上限設定2」を初期設定80%から100%に変更します。



①EV電池/ピークカット設定ボタンを押す。



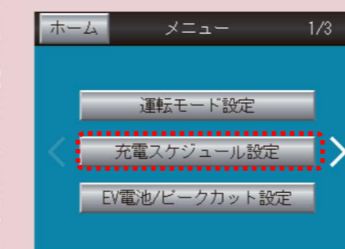
②-1「EV電池設定2」を押す。

②-2 ▲▼ボタンで充電上限設定2を100%に設定する。

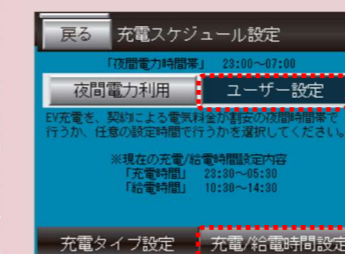
②-3 完了を押して画面を閉じる。

●「充放電時間」の変更方法

充放電時間の設定をグリーンモードに適した設定に変更します。



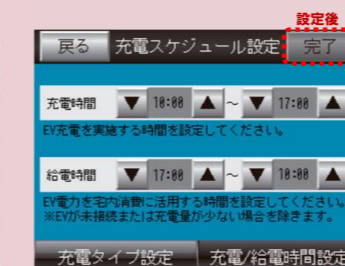
①「充電スケジュール設定」ボタンを押す。



②-1「ユーザー設定」ボタンを押す。

②-2 確認画面が出るので「はい」を押して確定する。

②-3 設定後、「充電/給電時間設定」ボタンを押す。



③充電時間と給電時間を設定する。

電力会社から電力を買ってEVに充電したい時間帯を充電時間に設定して下さい。太陽光発電の余剰充電及びEVから放電したい時間帯を給電時間に設定して下さい。▼▲ボタンで時間を設定し、「完了」ボタンを押す。

※「充電時間」と「給電時間」は重複して設定することは出来ません。

※「充電時間」と「給電時間」以外は停止となります。

※100% Editionの場合、「充電時間」:00:00~00:00、「給電時間」:00:00~24:00に設定して下さい。